



2024年6月25日

各位

会社名 株式会社サンテック
代表者名 代表取締役社長 八幡 信孝
(コード番号 1960 スタンダード市場)
問合せ先 執行役員管理部長 船戸 文英
(TEL. 03 - 3265 - 6181)

当社取締役会の全体としての実効性の評価結果の概要について

コーポレートガバナンスの実効性を向上させるための取り組みの一環として、コーポレートガバナンス・コード補充原則4-11③に基づき、当社取締役会の全体としての機能向上に資する目的で、昨年に引き続き本年度も独立社外取締役と独立社外監査役で構成される独立社外役員会が主体者となって当社取締役会の全体としての実効性の評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

全取締役・監査役に対して本評価活動の趣旨を説明の上、昨年と同様記名式にて、質問票を配付し、以下項目に分けてアンケートを実施しました。

評価を実施した項目

- ・取締役会の構成、取締役会の運営・監督状況
- ・社外取締役、社外監査役、指名・報酬委員会の構成と役割、運営状況
- ・取締役会の支援体制、ガバナンス体制、実効性全般
- ・株主その他ステークホルダーとの関係
- ・総括とその他
- ・DX推進における以下項目

取締役の選任、ビジョン、経営トップのコミットメント、仕組み、事業への落とし込み、ビジョン実現の基盤としてのITシステムの構築、ITシステム構築におけるガバナンス・体制、経営陣の評価、ステークホルダーへの情報開示

2. 評価結果の概要

独立社外役員会が当社取締役会へ報告した評価の内容は、昨年に引き続き「概ね良好」との結果でありました。

当社取締役会としては、当社の取締役会において経営上重要な事項の承認と業務執行を行うための実効性が当社取締役会全体として確保されていると評価しました。

なお、以下項目につきまして、改善の余地があるとの評価を受けました。

- ・PBR改善に向けたサンテックグループ全体の長期的・戦略的経営計画を具体的に推進する体制作り及びそれを実践する実行力・マンパワーの醸成・育成。
- ・改正労働基準法の「時間外労働の上限規制」に向けた対応や人手不足対策も含めたDX推進と人材育成投資への着実な実行へのフォロー体制作り。
- ・社内最高決議機関である経営会議と取締役会の役割分担を今まで以上に明確にし、経営会議による業務執行のより一層のスピードアップと取締役会が持つ経営の大きな戦略的方向付けと執行監督機能の強化。

- ・独立監査人の連結計算書類及び計算書類に係る会計監査報告に記載された意見不表明の監査結果を重く受け止め、今後の会社計算書類を作成する体制の強化及び内部統制システムにおいて業務を適正に確保する仕組みの体制の改善およびその運用の強化。

3. 今後の対応

今回の評価で改善の余地があると評価を受けた点を含め、労働法対応の工夫を当社生産性向上の絶好の機会と受け止め、また内部統制の運用強化により、今後当社取締役会は、取締役会全体として機能を向上させ、より実効性が高まるよう努めてまいります。

以 上